

ddEC療法

()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 14日。予定コース数; 4コース。

使用基準: 開始時; class A、2回目以降; class B

使用薬剤:

エピルビシン (EPI) : エピルビシン塩酸塩注射用 (1V: 10mg、50mg)

シクロホスファミド (CPA) : シクロホスファミド (1V: 100mg、500mg)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
エピルビシン	90 mg/m ²	#VALUE!	
シクロホスファミド	600 mg/m ²	#VALUE!	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1		0時00分	内服	アプレピタントカプセル125mg エピルビシン開始1時間前頃	
	1月1日 (金)	0時45分	①	生理食塩液50mL + アロキシ 1V + デキサート9.9mg 15分で点滴静注	
		1時00分	②	生理食塩液 50mL + エピルビシン塩酸塩注射用 全開 10分以内で点滴静注	mg
		1時10分	③	生理食塩液 250mL + シクロホスファミド 30分で点滴静注	mg
		1時40分	④	生理食塩液 50mL (フラッシュ)	
day4	1月4日	10時00分	①	ジーラスタ皮下注 3.6mg 皮下注射のみに使用 day5での施行も可	

day1	1月1日 (金)	~内服	オメプラゾール (10mg) 1錠 1 × (14) 朝食後 ロラゼパム (0.5mg) 2錠 2 × (6) 朝・夕食後 アプレピタントカプセル (125mg) 1カプセル 1 × (1) エピルビシン投与1時間前頃
day2	1月2日 (土)	~内服	アプレピタントカプセル (80mg) 1カプセル 1 × (2) 起床時 デキサート (4mg) 1錠 1 × (4) 朝食後 マグミット (330mg) 4錠 2 × (5) 朝・夕食後

REFERENCE

Lucia Del Mastro, Sabino De Placido, Paolo Bruzzi, et al Lancet 2015;385:1863-72

Fluorouracil and dose-dense chemotherapy in adjuvant treatment of patients with early-stage breast cancer: an open-label,

2 × 2 factorial, randomised phase 3 trial

福山市民病院倫理委員会 受付番号246

2015年12月度がん化学療法プロトコル審査委員会承認: 2015年12月14日 更新: 2018年5月14日